

# しがスマートエネルギー推進会議

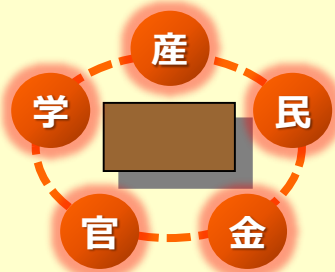
## 趣旨

平成26年度～平成28年度

- ◆県内における産学官金民の各セクターが再生可能エネルギーをはじめとするエネルギーに関する情報を共有しながら様々な課題を議論し、課題解決に向けて相互に連携・協力して取組を推進することを目的とした「しがスマートエネルギー推進会議」を、平成26年11月に設置。

## しがスマートエネルギー推進会議

～産学官金民による地域ラウンドテーブル～



※各セクターがそれぞれの強みを活かして連携



推進会議の様相

## 構成団体(17団体)

- 滋賀県商工会議所連合会(八日市商工会議所)
- 滋賀県商工会連合会(甲西陸運(株))
- 滋賀県中小企業団体中央会(滋賀特機(株))
- 滋賀経済同友会
- 一般社団法人 滋賀経済産業協会(いぶきグリーンエナジー(株))
- 公益財団法人 滋賀県産業支援プラザ
- 関西電力株式会社
- 大阪ガス株式会社
- 公立大学法人 滋賀県立大学
- 株式会社滋賀銀行
- 滋賀県地球温暖化防止活動推進センター
- 生活協同組合コープしが
- J A 滋賀中央会
- 滋賀県土地改良事業団体連合会
- 滋賀県林業協会
- 近畿経済産業局
- 滋賀県(事務局)

# しが地域エネルギーコンソーシアム

## 趣旨

◆産学官金民の各セクターが、再生可能エネルギーや省エネルギーなどエネルギーに関する情報を共有し、有機的な連携・協力の下、エネルギー関連のプロジェクトの組成および推進を図ることを目的とした「しが地域エネルギーコンソーシアム」を、平成30年3月に設置。

<会員数> ※令和元年4月3日現在

- 法人会員：35者
- 個人会員：25者

## しが地域エネルギーコンソーシアム

- ✓ 各分野のプレイヤーのシーズ・ニーズの情報交換
- ✓ 有機的連携による新たなプロジェクトの誘発・組成 等

(庁内連携)

低炭素・エネ推進本部

(市町連携)

県市町エネルギー研究会

(国・支援団体連携)

関西スマートエネルギーイニシアティブ

(他府県連携)

関西広域連合

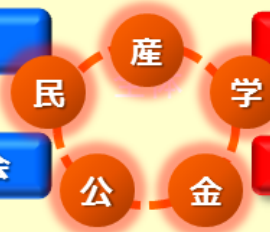
(事業者等連携)

各種プロジェクト検討委員会

(水素関連事業者連携)

水素エネルギー研究会

その他、経済団体、研究機関、金融機関、地域団体 等々



新たなプレイヤーの参画



## しが地域エネルギーコンソーシアム キックオフフォーラム

滋賀県では、平成28年3月に策定した「しがエネルギービジョン」に基づき、持続可能な新しいエネルギー社会の実現に向けて、地域レベルで取り組み可能なエネルギー政策を推進しています。

こうした中、再生可能エネルギーをはじめとするエネルギーに関する情報を共有しながら、民産学金公の各セクターが有機的に連携・協力し、エネルギー関連のプロジェクトの組成および推進を図るため、「しが地域エネルギーコンソーシアム」を設置し、これに係るキックオフフォーラムを開催します。

日時

平成30年 3月22日(木) 14:00~17:00 (受付13:30~)

会場

滋賀県危機管理センター1階大会議室(大津市京町四丁目1-1)

プログラム

第1部 講演・事例報告

14:00~14:05 開会挨拶

14:05~14:30 「しがエネルギービジョン」の推進について  
滋賀県県民生活部エネルギー政策課

14:30~15:30 基調講演 『地域エネルギー政策から始める持続可能な地域づくり』  
一般社団法人地域政策デザインオフィス  
代表理事 田中 信一郎 氏

15:40~16:20 事例報告① 『セメント資源化による循環型社会形成と琵琶湖里湖循環プロジェクトについて』  
太平洋セメント株式会社 環境事業部  
アクア事業グループ 濱崎 琴美 氏

事例報告② 『地域の未利用エネルギー活用による循環型「バイオマス発電システム」について』  
滋賀特機株式会社 開発営業部  
部長 山中 利広 氏

第2部 情報交換会

16:30~17:00 情報交換会

定員

100名(先着順)

主催

滋賀県

キックオフフォーラム(平成30年3月22日)

参加費 無料

## 「SDGs×エネルギー ～持続可能な未来に向けた地域デザイン～」開催

- 地球規模で進行する気候変動を背景に、自然エネルギーの活用は現実のビジネスや社会にも影響を及ぼし始めている。こうしたエネルギーを取り巻く最新動向とともに、持続可能な未来に向けた自然エネルギーに関する県内事例の最前線を紹介。
- **定員150名を大幅に上回る214名が参加。**

## ■ 基調講演

「自然エネルギーがビジネス・社会を変える」

自然エネルギー財団 自然エネルギービジネスグループ  
マネージャー 石田 雅也 氏

## ■ 事例報告 I (県補助金活用事例)

①「Allmendeキテハ 小型チップボイラ導入による  
地域創造プロジェクト」

株式会社バイオマスアグリゲーション

②「伊吹山ソーラーファームプロジェクト」

株式会社伊吹山スロービレッジ

③「高純度バイオディーゼル燃料による  
滋賀発SDGs実践プロジェクト」

油藤商事株式会社

## ■ 事例報告 II

④「自然エネルギーを活用した地域活性化の推進」

湖南市 地域創生推進課 地域エネルギー室

⑤「ダイキン工業の管水路用マイクロ水力発電事業の展開」

株式会社DK-Power

⑥「水素エネルギー社会に向けたパナソニックの取組」

パナソニック株式会社 アプライアンス社

しが地域エネルギーコンソーシアム・フォーラム

SDGs×エネルギー  
～持続可能な未来に向けた地域デザイン～

地球規模で進行する気候変動を背景に、環境・社会・企業統治に配慮する企業を重視・選別して行うESG投資や化石燃料関連企業からの投資撤退(ダイベストメント)、自然エネルギー100%を目指す国際的なプロジェクト「RE100」など、今や自然エネルギーの活用は世界各国に共通する重要な課題となり、現実のビジネスや社会にも影響を及ぼし始めています。今回のフォーラムでは、こうしたエネルギーを取り巻く最新動向とともに、持続可能な未来に向けた自然エネルギーに関する県内事例の最前線をご紹介します。是非ご参加ください。

日時 平成 31年 3月20日(水)  
13:30～16:40 (受付 13:00～)

会場 ピアザ淡海 大会議室  
(大津市におの浜1-1-20)

定員 150名  
参加費無料  
※どなたでも参加いただけます。

13:30～ 開会挨拶・「しがエネルギービジョン」の推進について  
(滋賀県 県民生活部 エネルギー政策課)

基調講演 13:50～ 『自然エネルギーがビジネス・社会を変える』  
(自然エネルギー財団 自然エネルギービジネスグループ  
マネージャー 石田 雅也 氏)

事例報告 15:00～ ① Allmendeキテハ 小型チップボイラ導入による地域創造プロジェクト  
(株式会社バイオマスアグリゲーション 代表取締役 久木 裕 氏)  
② 伊吹山ソーラーファームプロジェクト  
(株式会社伊吹山スロービレッジ 取締役 嶋野 美知子 氏)  
③ 高純度バイオディーゼル燃料による滋賀発SDGs実践プロジェクト  
(油藤商事株式会社 専務取締役 青山 裕史 氏)

事例報告 15:45～ ④ 自然エネルギーを活用した地域活性化の推進  
(湖南市 地域創生推進課 地域エネルギー室 課長補佐 池本 未和 氏)  
⑤ ダイキン工業の管水路用マイクロ水力発電事業の展開  
(株式会社DK-Power 取締役 石川 吉彦 氏)  
⑥ 水素エネルギー社会に向けたパナソニックの取組  
(パナソニック株式会社 アプライアンス社  
スマートエネルギーシステム事業部 主幹 武部 安男 氏)

16:40 閉会(※16:40～17:00 名刺交換会)

Mother Lake 滋賀県

# 県と市町との情報共有・意見交換の場を開催

- 新しいエネルギー社会の実現に向けては、県内における**基礎自治体(市町)の役割が重要**。
- 県内における再生可能エネルギーの普及等に資することを目的として、滋賀県と県内市町の担当者が定期的集まり、情報共有・意見交換を行う「**県市町エネルギー研究会**」を平成23年12月に設置。

## 県市町エネルギー研究会

### ●研究会の内容

- 再生可能エネルギー導入に係る制度、事業等の情報交換
- 地域におけるエネルギー関連の取組事例の紹介や課題の共有化
- その他関連情報の共有および意見交換

### ●これまでの研究会での主な議題

- 国・県のエネルギー関連施策等
- 市町の再生可能エネルギー等に関する取組状況
- 固定価格買取制度の今後の方向性等
- 再生可能エネルギー設備設置に係る支障事例
- 各市町における先進的な取組事例の紹介
- 「しがエネルギービジョン(案)」に関する意見交換



研究会の様様



現地研修会